

JLC 第 50 回ジョーク・コンテスト

2020年7月18日(土) 15:00-16:00

オンライン会議方式

MC: 安藤雅彦



	出題品と語数	出題者・得点
1	 <p>Son: Is it true Dad? I heard that in ancient China, a man doesn't know his wife until he marries her. Father: That happens everywhere, son, EVERYWHERE !!</p> <p style="text-align: right;">(27 words)</p>	相原 悦夫 2+1=3
2	 <p>Whoa! China is fudging their coronavirus numbers? WHO knew!</p> <p style="text-align: right;">(9 words)</p>	岡田 茂富 2+4=6
3	<p>A little girl at the zoo was delighted to see a big bird approaching her. "That's a stork, dear," said her mother. "No wonder it recognized me," said the girl.</p> <p style="text-align: right;">(30 words)</p> 	岡本真弘人 1+1=2
4	 <p>He's a perfect executive. When he's dictating to his secretary, he always ends a sentence with a proposition.</p> <p style="text-align: right;">(18 words)</p>	坂井 孝彦 2+4=6

5	<p>Mother: Sam, you've got to tell me where you buried Dad in the sand. He'd got the car park ticket.</p> <p>(20 words)</p>		<p>豊田 一男</p> <p>0+0=0</p>
6		<p>A: How do you predict the post-corona world?</p> <p>B: We'll definitely see the rise of the QUARANTEENS in 2033 after the minor baby boom during the stay-home months in 2020.</p> <p>(30 words)</p>	<p>棚橋 征一</p> <p>4+3=7</p> <p>第三位</p>
7	<p>Two translators were talking on the deck of a cruiser.</p> <p>“Can you swim?” asked one.</p> <p>“No,” said the other, “but I can shout for help in nine languages.”</p> <p>(28 words)</p>		<p>土屋 政雄</p> <p>3+2=5</p>
8		<p>I hope the only ups and downs you two have are between the sheets.</p> <p>(14 words)</p>	<p>佐川 光徳</p> <p>0+0=0</p>
9	<p>Man: Will you marry me?</p> <p>Woman: No, but I always admire your good taste.</p> <p>(14 words)</p>		<p>中嶋 秀隆</p> <p>2+2=4</p>

<p>10</p>	<p>Maskphobic as he is, Mr.Trump is keen to wear a mask of a great American leader. But his aides want him to mask his stupidity.</p> <p>(26 words)</p>		<p>安藤 雅彦 6+4=10</p> <p>優勝</p>
<p>11</p>	<p>For sale: Encyclopedia Britannica, 40 volumes, excellent condition. \$1,000 or best offer. No longer needed. Got married last weekend; wife knows everything.</p> <p>(22 words)</p>		<p>服部 陽一 2+2=4</p>
<p>12</p>	<p>Key Class, This is Mrs. Jones and I can't wait to learn about my students!</p>	<p>Everyone told me the first year at school would go quickly, but I never dreamed it would ZOOM!</p> <p>(18 words)</p>	<p>小澤 正樹 3+3=6</p>
<p>13</p>	<p>A bicycle can't stand on its own because it is two-tired.</p> <p>(11 words)</p>		<p>今井真由美 4+4=8</p> <p>第二位</p>
<p>14</p>	<p>It is better to have loafed and lost than never to have loafed at all.</p> <p>James Thurber. (17 words)</p>		<p>舟崎 正敏 0+0=0</p>

15		<p>Noh players wear masks.</p> <p>(4 words)</p>	<p>田中洋一郎</p> <p>4+2=6</p>
----	---	---	---------------------------

MCの記

本会史上初のオンライン例会に、13人もの方が参加されました。出品作品が15個と、時間管理上、手ごろな数でした。出品して例会不参加が3人で、出品せず例会参加が1人、これで数はあっていますよね？

スライドの共有は、あらかじめ今井さんのコーチングを受けていたので、スムーズにできました。投票は「ZOOMの挙手」。アイコンを使わず、シンプルに画面上で手を挙げてもらう原始的な方法でやり、小澤さんに教えてもらいました。第1回投票では、出品番号10が6票で、6番と13番と15番が各4票でした。票が割れたのは、スライド共有時には、画面はスライドのみのため、ほかの参加者の表情・身振りに全く影響されないのとの関係があるかも？

続いて討論ですが、まずは反省、MCが喋り過ぎでした。自分は喋らず他の人の話を引き出すのがMCの役割なのに、ごめんなさい。画面は当該のスライドで、参加者は音声のみで、姿が見えないのは初体験でした。発言を誰に振るかを判断するのが難しく、沈黙の世界から脱出するため、つい自分自身に振り過ぎました。今後オンラインでは、スライドの画面共有をせずに、画面は参加者全員にするのもありかなと思います。

2番：僕はこれを見て、上手い、負けた、これが優勝だと思いました。Who knows! と現在形

の方がインパクトが強いのではとのコメントあり。

4番：MCがこのこの proposition は「異性への性的誘い」であると蛇足。proposition→prepositionの連想から、前置詞を文末に置くことの是非が話題となり、坂井さんよりコメントがありました。本会はジョークのみならず、英語の勉強にもなることを示した一幕でした。

5番：夫の無事と駐車券とどちらが大事なの？

6番：quarantine と teens の造語使ったトピカルなジョーク。理屈を言うと、2020年に仕込まれた2021年生まれが13歳（ティーン）になるのは2034年ですね。コロナ初期の2月までに仕込めば、2033年に生まれになると、これはカミさんの指摘。

8番：MCが英語ジョーク倫理委員会（略称英倫）の規定に違反：文字だけでもきわどいのに、グラフィックがダメ押しだと指摘。だが誰一人としてこれに賛同せず、本会の文化度の高さが示されました。棚橋さんより、結婚式のスピーチで人生の先輩が新郎新婦に送る言葉だろうとのコメントあり。

9番：女性は自分を称賛しているのですね。

10番：造語の「マスク恐怖症」を含め、マスクの多義性を利用しているとのコメントが佐川さんよりあり。

12番：zoom、「早く過ぎる」と「遠隔授業」のダブルミーニングを利用している。

13 番：同型同音異義語 **tire** の「疲れた」と「タイヤ」を利用しあざやか。

14 番：Alfred Tennyson が友人を追悼して書いた詩の中に 'Tis (=It is) better to have loved and lost than never to have loved at all. があるそうです。

この箴言の loved を loafed (遊び暮らした) に換えたのがこの出品作との説明あり。今でも僕にはジョークと言うよりは箴言に思えますが、豊田さんの研究発表「Parodictionary の試み」にある名句のもじりにあたるのかなと納得。教養がない僕は、Tennyson などは思いもよらず、「なにがおもしろいのだ？」とっていました。

15 番：言葉と絵の一体の出品。出品者の田中さんが、匿名の壁を破り、自ら説明。新聞に出た見出しと写真で、見出しを英訳したとのこと。

15 作品のうち 5 作品がコロナに関連していたのは当然のことでしょう。

翻訳不能ジョークが 2 番、6 番、10 番、12 番、13 番と 5 作品もあったのは、このジャンルを愛する僕にはマッコト嬉しいことでした。

考慮時間をとり、2 度目の投票。

優勝は 6+4=10 票で、安藤の 10 番。

Maskphobic as he is, Mr. Trump is keen to wear a mask of a great American leader. But his aides want him to mask his stupidity.

2 位は 4+4=8 票を獲得した今井さんの 13 番。

A bicycle can't stand on its own because it is two-tired.

3 位は 4+3=7 票で棚橋さんの 6 番。

A: How do you predict the post-corona world?

B: We'll definitely see the rise of the QUARANTEENS in 2033 after the minor baby boom during the stay-home months in 2020.

大波賞は該当なし。

安藤の奇跡の初優勝は特筆すべきでしょう。なにを隠そう、彼は本会の創立メンバー (Charter Member) で、ジョーク・コンテストには少なくとも 40 回は参加していましたが、優勝したことはなかったです。毎回、同音・類音・多義語を、味噌が少ない脳でひねくり回して作っているようです。だが、これまでは大抵は 0 票かせいぜい 2 票に低迷していました。このような珍なる人物の存在を許容する本会の懐の深さ！

JLC 会員の新书推荐

中嶋秀隆 (共著)



発行：TWO VIRGINS
(2020年5月)
定価：1,100円+税

笑いとはユーモア研究の国際的権威ポール・マギー博士と中嶋秀隆による人生を豊かにする7つの習慣。

7つの習慣を実践していだけで、笑いのメソッドが身に付けられ、ポジティブな感情を醸成してくれる。本書は、チェックして、記録するといった実践スタイル!

自分を笑い飛ばせるようになり、さらには自分のきらいな部分を受け入れストレスの軽減にもつながる。

日本での発売に当たり、ポール・マギー博士は「この本で紹介する『7つのユーモア習慣』が、根底では、落語や歌舞伎などの日本文化の笑いにつながっているものと確信しています。」と本書で述べている。

社会人の方、これから社会に出る方、コミュニケーションで悩んでいる方へぴったりな1冊です!

(アマゾン)